

大阪大学図書館報

Vol. 9, No. 1 April 1975

目 次

- | | |
|--------------|---------------|
| ○「本を読む」について | ○分館だより（薬学部分館） |
| ○学生希望図書（受入済） | ○日 程 |
| ○教官著作寄贈図書 | ○人 事 |
| ○本館受入参考図書 | |

「本を読む」について

山 野 俊 雄

自然科学者である筆者など、日常の研究活動で文献を読み、情報を集めているとそれだけで読む方が手一杯で、このような欄に原稿を書けといわれても書く材料を持ち合せない。まことに科学情報の増加は指数関数的で、二次資料つまり読むべき文献を品定めするために読むもの、手近かなものでカーレントコンテンツなど毎週送ってくるが、そういうものでさえ時として日曜日でも何時間かをあてねばならない。何かのつごうでそのための時間が失われるとたちまち何冊かたまってしまふ。それを読みこなし、それを整理してカードなど作っていると、そのためにまた読む以上の時間をとる。そうした二次的な準備も加わって自分の研究教育に直接関係する文献を読む、時に興奮し時にゆううつになってこれらの洪水ともいふべき情報をこなしつてゆかねばならない。文献読みはいわば実験計画、実験の延長に加えられようなものとすると「本を読む」という気持とは少し異質の感じがする。身を正して教養に資するとか、自らの精神的向上、学際を拓げることをめざすものとして読むものを狭義の「本を読む」とすれば、なかなかまとまった時間と身体的な余裕また体調のいい時でなければむつかしい。したがって筆者などは、今の世の諸問題、政治、経済社会のことはききかじりのことが多く、そのようなことを話題にして書くことなどとてもできない。また若い頃からの蓄積も少く忘れて失うほうが多く、ここで大学の多数の有識者の目にとまるであろうところに書けるような材料を持たないというのが本音で「本を読まない」辯を書く始末である。

本を読むと言うことはやさしいが、読むという段階がいろいろある。目が活字を走っていても読んではいえない。

読むためには本を買う金がなければならない。おそらく大学院生の方々には切実なことと思われる。また買うべき本がなければならない。これは今の若い人には実感が湧かないと思う。古い話で恐縮だが筆者らが大学在学中あるいは大学を出た頃がそういう状態であった。

新刊の新聞広告が出たらなけなしのお金を持って書店にかけつける。店頭の本が顔を出して手で本の背をたぐり寄せる時には胸のときめきを感じた。多くの場合何遍も書店にまだ出ないか、まだ出ないかと無言の催促を繰り返したものであった。2～3日店頭に並んだらもうないものと考えねばならなかった。たまたま金がなくて見送ったあとに行ったらなかった口惜しさ、人に奪われたような気もした。古本屋をあさってもなく、むなしい思いをいだいたことの記憶が残っている。

金があり、本が店頭にあふれても読めるものではない。すでに述べたように読むための時間がなければ積んで置くに過ぎない。残念ながら筆者の書齋にもそんな本がますます増えている。

本を読むためのもっとも大事な要件は、本を読もうとする意力である。

勝海舟の物語で感心したことがある。若い頃金がなくて所望の本が買えず見送っていたところ、金が入ったので書店に駆けつけるともう人手に渡ったあとであった。買い主をさがしあて筆記を頼むが容易に応じてくれない。「昼はお読みになるでしょうから、夜お宅でうつさせてもらいたい」ということでやっと許可が出た。おかげで持主が読まないうち、あるいは目を通したか通さないうちに筆記完了したという話である。筆記した時にはたしかに読んでいたであろうと思われる。ゼロックス複写とは大きな違いである。ゼロックス複写では読んでも残るのは少いかも知れずまして積んで置く恐れがある。これなど金なく、本なく、しかも読んだという話である。

日本の現代医学のはじめの苦労が、蘭学事始の行間ににじみ出ている。よく知られたように、「解体新書」が生み出される経過を杉田玄白が手記したのがこの本であるが、これによって当時の先人がいかに読むことに真剣であったかがうかがうことができる。書物としてはターフル・アナトミアと呼ばれる立派なものがあったが、読むにも、読めない文字が書かれている場合である。いくつかのキーワードから読み出すものである。「そのデの、ヘットの、またアルス、ウエルケなどの助語の類も、何れが何れやら心に落付きて辯へぬことゆえ、少しづつは記憶せし語ありても、前後一向にわからぬことばかりなり、たとえば眉（ウエイングラーウ）というものは目の上に生じたる毛なりとあるようなる一句も、彷彿として長き春の一日にも明らめられず、日暮るるまで考え詰め、互ににらみ合いて僅か一二寸ばかりの文章、一行も解しうることならぬことにてありしなり」（岩波文庫 緒方富雄校註）と書かれている。このように玄白らは苦労して読み進み、原著の内容の正確さ、ち密さに感嘆した。玄白らは自らの知識を確実にするとともにその訳出すなわち解体新書の刊行によって日本の医学、ないし自然科学の開眼に貢献した。日本の文明開化の精神的支柱にはこのような先人の努力があった。その功績の大きいことを思うと、この時、読んだことの意義のいかに大きいかがわかる。蘭学事始にある「ターフル・アナトミアの書に打向いしに誠に艱難なき船の大海に乗り出せしが如く、范洋とし、寄るべきかたなく、ただあきれにあきれて居なるまでなり」のところから出発して解体新書を読破したことなどは筆者が書を読む時、あるいは研究において障壁におちあつた時に思い出して自らをむち打って大きな教訓の一つである。

大阪大学医学伝習百年史が、医学部伴教授らの骨折りで間もなく刊行されるように聞いている。この歴史は大阪医学校創立よりのものであるが、その前に適塾の創設があり、さらにその以前に位置するのが大阪におけるオランダ医学の発達、懐徳堂をめぐる町人文化のうごきのように聞いている。筆者のこの方面への興味は深いが、何分素人である。しかしありがたいことには藤野恒三郎名誉教授が大阪の医学史を中心に造詣が深く、先生から「学悦の人」という力作をいたゞいて折にふれ読ませていただいている。先生は腸炎ビブリオの発見など多くの細菌学上のすぐれた業績を残された上に、ほんとうに「本を読む」ことを実行された。

また得にくい古い書物を求められて熟読され、そして有用な著述を残されている。先生の「学悦の人」という表題も、法悦という言葉に対する先生の独創の表現で胸打たれる言葉である。先生の書によれば、解体新書の影響を受けて各地の若い医学生がふるい立ったとある。

大阪に関連して小石元俊(京都)、橋本宗吉、伏屋素狄があり藤野先生の祖父もその影響を受けておられる。中天游を経て緒方洪庵が登場する。洪庵の適塾は現在阪大に所属しその建学の精神は永く本学に根をはってゆくことと思われるが、とくに医学の発達に関係するために、筆者には関心が深い。

洪庵が残した扶氏医戒之略は「人の為に生活して己のために生活せざるを医業の本体とす、安逸を思わず名利を顧みず唯おのれをすてて人を救はんことを希ふべし、人の生命を保全し、人の疾病を復活し人の患苦を寛解するの外他事あるものにあらず」から始まる12条は幸いにも藤野先生が田中一彦氏の協力を得て複写してくださり、そのおかげで筆者もその一部を手に入れることができた。

向上の意気に燃え、理想の旗印をかかげ、名利を追わず、ひたすら「学悦」を求めた先人の像を思いうかべて、誠に「本を読む」最後の到達点は「学悦」の境地であろうという感じが深い。

筆者は残念ながら、今は始めに述べたように「学悦」とは程遠いところにいる。しかしいつかは「本を読んで」藤野先生程ではないが学悦の境地に一步でも入りたいと思っている。それまではせめてかって読んだ書物の中のもので先人の苦難を思いおこすものを反すうして、わが身を鼓舞する糧としておきたい。

(医学部教授 中之島分館長)

学生希望図書 (受入済)

クルーザー艇長実務		Introduction to Mechanics Solids.
土井 悦 (舟艇協会出版部)		Popov, E. P.
クルーザー教室		現代日本金融論
関根 久 (舟艇協会出版部)		鈴木 淑夫 (東洋経済新報社)
日本外交史 II		生化学 上・下
信夫清三郎 (毎日新聞社)		レーニンジャー (共立出版)
新商法演習 1~3 (有斐閣)		現代日本経済史講義
岩波講座 現代物理学の基礎 第11巻		安藤 良雄 (東京大学出版会)
(岩波書店)		

企業革命論

岡本 清一

(小学館)

マルクスの経済学

森嶋 通夫 他 (東洋経済新報社)

経済学

西川俊作

(東洋経済新報社)

教官著作寄贈図書

——本館——

石川 実 (言・助教授)

平田 達治 (言・助教授)

山本 実 (言・講師)

宗教とエロス

叢書・ユニベルシタス

(法政大学出版局 昭50)

——吹田分館——

藤澤 和男 (基・教授)

マイクロ波回路例題演習 (標準電気・電

子工学例題演習シリーズ 13)

(コロナ社 昭50)

——基礎工学部図書室——

藤澤 和男 (基・教授)

マイクロ波回路例題演習 (標準電気・電

子工学例題演習シリーズ 13)

(コロナ社 昭50)

本館受入参考図書

11月～2月に受入済みのもの

全集・叢書細目総覧、第1巻

(紀伊国屋書店)

全国寺院名鑑、1-4

(全国寺院名鑑刊行会)

宗教学辞典

(東大出版会)

聖書辞典

(新教出版社)

聖書思想事典

(三省堂)

大日本人名辞書、V. 1-5

(講談社)

宋代史年表 (南宋)

(東洋文庫)

犯罪白書 昭49

(大蔵省印刷局)

国民生活白書 昭49

()

日本経済事典

(講談社)

最新労働用語辞典

(日刊労働通信社)

国際連盟・国際連合刊行資料目録、国立国

会図書館所蔵、第2巻 (国立国会図書館)

Biographical Directory, 5th. ed.

(Goetz)

The National Faculty Directory, V. 1-2

(Gale Research Co.)

Sources of Information in the Social
Sciences. (Bedminster Pr.)A Directory of Information Resources
in the United States.

(U.S. Government Printing Office)

微生物学用語集 英和・和英 (菜根出版)

グラバー図譜、3 (長崎大学水産部)

学術用語集：船舶工学編 (日本造船学会)

鉄道小事典 (誠文堂新光社)

電子通信の現状と展望、昭49

(大蔵省印刷局)

基礎工学ハンドブック、電気・電子・情報

・制御

(オーム社)

世界旅行時刻表：日本↔ヨーロッパ列車ダ

イヤ

(二見書房)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 日本農業書総目録 (農業書販売懇話会) | エチオピア比較語句集 |
| 美学事典 (弘文堂) | (東京外大言語文化研究所) |
| ライフ写真年鑑 '74 | 万葉古今動植正名 (内外出版) |
| (タイムライフブックス) | 万葉集総索引：単語篇、漢字篇 (平凡社) |
| 近世邦楽年表 (六合館) | 西条八十著作目録・年譜 |
| 能謡語彙 (観世流改訂本刊行会) | (同目録刊行委員会) |
| American Art Directory, V. 44. | フランス文学辞典 (白水社) |
| (Bowker) | A Manual for Writers of Term |
| Who's Who in American Art. | Papers, These, and Dissertations. |
| (Bowker) | (Univ. of Chicago Pr.) |
| Acronyms and Initialisms Dictionary. | |
| (Gale Research Co.) | |

分館だより

薬学部分館

昨年12月末からあしかけ4ヶ月にわたり吹田第2地区への移転について鋭意準備検討され3月8日より図書の運搬を開始し、3月11日ようやく完了しました。新図書室は、本館2階、北側の中央部、349㎡の面積を有し、建物の概要は次のとおりで、4月より開館の予定です。

- 単行本書庫 (22㎡)：発行年の古い単行本、参考図書、和綴本を配架。
- 雑誌書庫 (94㎡)：和洋雑誌のバックナンバーを配架。
- 閲覧室 (209㎡)：新着雑誌、参考図書、抄録誌、monograph誌、新刊単行本、指定図書などを配架、閲覧座席数52席。
- 複写室 (18㎡)：ゼロックス2台(4000型、3600型)設置。

日 程

- 50年2月7日 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
(京都工芸繊維大学附属図書館)
- 50年2月14日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
(第13回 大阪大学附属図書館)
- 50年2月17日 国立大学図書館協議会 常務理事会
(昭和49年度第3回 東京大学総合図書館)
- 50年2月18日 国立大学図書館協議会
(大学図書館改善調査研究会)(第6回 東京大学総合図書館)
- 50年2月21日 第3回日米大学図書館会議実行委員会事務局会議
(第1回 京都大学附属図書館)

- 50年2月24日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館業務の機械化に関する委員会
(昭和49年度第4回 京都工芸繊維大学附属図書館)
- 50年2月25日 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
(大阪女子大学附属図書館)
- 50年2月27日 近畿地区国公立大学図書館協議会 企画委員会 (大阪市立大学附属図書館)

人事

来訪者

- 1月22日 柿崎 幸子、本庄 久世 (国立国会図書館 整理課主査、副主査)
- 1月30日 鈴木 義隆 (国立国会図書館 閲覧部図書課主査)
- 2月24日 後藤 鴨 (国立国会図書館 国際課主査)

職員の異動

- 辞職 臨時用務員 高木ムツエ 50. 1. 20 本館整理課 庶務掛
- 採用 事務補佐員 戸次 節子 50. 2. 1 ヶ 目録掛